

## カレン族の歌謡

内田 るり子

カレン族はビルマ連邦共和国の北部コートレー州を中心にタイの北部からラオスにかけて分布している。

カレン族はその言語から分類してスコー・カレン族とポー・カレン族が主なもので、全体の70%を占めると云われ、残りはカヤ・カレン族とトングス・カレン族である。

カレン族の歴史については明らかな記録はない。インド支那半島に於ける民族移動の主流が北から南の方向に向って流れているといわれているが、カレン族もまた例外でないようである。カレン族の伝説や伝統的資料によつて、彼等は北方に起源をもち三派に分れてイラワジ川、サルウィン川、メコン川の谷を下つていったと云う。カレン族はまた言語学上の位置も確定していないが、チベット・ビルマ語族に属していると考えられている。

タイに居住するカレン族にはその居住する地域により山地民と平地民があり、各々山地カレン、平地カレンとよんでいる。山地カレンは焼畑耕作を行い、アニミズムを信仰し、学校教育もうけずに、因襲的な部族生活を行っている。一方平地カレンは水田耕作と焼畑耕作とをあわせ行つて、彼等の生活を部族的な生活から農民的な生活に変えつつある。彼等の信仰はやはりアニミズムで、水、岩、木、水田の神などがあり、家神は特に大切であると云われている。また水田の神に対しては、しばしば豊作儀礼が行われている。

最近では、カレン族の小学校があり、教育も行われている。

特にキリスト教・仏教の導入と、タイの文化を受容した近代化によつて、カレン族の社会生活は日々に変容し、発展している。

カレン族は昔から彼等の伝統的な歌を有し、歌は彼等の日常生活や儀礼に重要な役割をもっていた。彼等の間には音楽の専門家はなく、歌は村の長老格のリーダーから若い村人へ、または親から子へと口承で歌いつがれて来た。彼等は歌は彼等の所有物であると考えている。

私は一九七六年——一九八〇年迄、毎春二週間ずつ西北タイの少数民族の調査を行い、そのたび毎にカレン族の部落を訪れて、彼等の歌を採集し、約百五十曲の録音を完了した。

その中から選んだ歌謡を民俗的な分類によつて記述することしよう。

### (一) 作業歌

カレン族の作業歌には焼畑或は水田の稲作に関するものが多い。

彼等は米を常食とし、焼畑の場合は三月頃林の伐採に当り、四月頃山焼きを行い、五—六月頃雨期の直前に播種し、七—八月頃除草、十一月頃収穫する。彼等は未婚者は白に赤い裾の入った貫頭衣、既婚者はトゥー・ピースを着て、これは彼等の決つた制服であるが、

その衣服は自分達の手で織って作っている。

(1) 木切歌 (スコー・カレン)

〽 私達は木を切る

焼畑を作るために

お互に助け合って毎日毎日

昔祖先がしたように

私達は祖先の習慣を守り

カレンの祖国を守ろう

(2) 焼畑に行く道で (ポー・カレン)

〽 私は森に行く

焼畑の作業に

木の葉の緑と赤が美しい

私はあなたを思いつづける

(3) 田植歌 (スコー・カレン)

〽 田植をするのは雨季で

いつも冷い

私は田植に一生懸命

秋の収穫の良いように (水田耕作)

(4) 田植歌 (ポー・カレン)

〽 私が田を耕していること

雨雲がやって来た

米が十分育つように

恵みの雨であるように

〽 私達が川のほとりに植えた

野菜もこんな大きくなりました

〽 私達が一緒に植えた

お米もお花も大きくなりました

〽 森の中の焼畑に作った

お米も大きくなりました

〽 私は中国人が作っている

野菜やお花と同じように

お米がたくさんとれた

夢を見ました

〽 黄色いメロンも、緑のメロンも

たくさんになりました

注、稲作の呪歌であると思われる。

(5) 焼畑の草取歌 (スコー・カレン)

〽 私は田んぼに田の草取りに行く

淋しく一人ぼっちで

私は恋人に歌う

早く来て手伝って下さいと!

(6) 刈り入れの歌 (スコー・カレン)

〽 刈り入れは楽しい

彼女は手伝ってくれるし、

私のいとしい彼女よ

花のように美しい彼女よ

私は彼女をしっかりとつかまえて

決してはなさない!

(7) 機織歌 (ポー・カレン)

〽 カレンの女は愛するタイ人の男に

シャツを織った

彼女はシャツにラブレターを添えて

彼に送った

彼は「あなたのラブレターを途中で落してしまった」と云った  
彼女は「いいわ、シャツを受けとって下さったならば」と云った

(二)恋の歌

恋の歌は圧倒的に多い。そして多くの場合当然ながらそれは結婚の願いつながってゆくが失恋の歌もある。

(1)恋の歌 (スコー・カレン)

♂ あなたの歌声は美しい

私も歌が大好き

お友達になって下さい!

♀ もしあなたが声の美しい持主なら

私のところに習いにいらっしやい

♂ あなたは鳩の様に歌う

あなたの歌をきくと涙がこぼれそう

恋人になって下さい!

(2)恋の歌 (スコー・カレン)

♂ 二羽の鳩が丘の上で歌う

愛を語っているのだから

過ぎた日の私のように

彼が去ってしまつてからは

私は髪を梳る手も乱れがち

私を今も愛してくれるなら

早く便りを下さい!

(3)恋の歌 (ポー・カレン)

働いている最中でも

思うはあなたのことばかり

死ぬまで思いつづけるでしょう

皆さん! 私の恋人に手をつけないで

私は恋人を独占したいのです!

(三)結婚式の歌

結婚式のパーティは花嫁は3匹の大きな豚を、花婿は2匹の豚をもつて来る。2月間にわたつて米から醸造した酒と共にこの豚を御馳走してお祝に来た客に饗応する。歌は祝いの客によって歌われる。

(1)結婚式の歌 (ポー・カレン)

♂ 同じ国に生れ 同じ家に住み

夫が富めば妻も富む

夫妻とはそうしたもののよ

♀ 昔は君は僕を愛していた

けれど今二人の愛は

分岐して流れる二本の川のように

分れてしまった

♂ よく考えて下さい

そんなことはありません

私達は同じ祖先から出た

カレン族ですよ!

注、結婚式に来た客の夫婦によって歌われる。

(2)結婚式の歌 (スコー・カレン)

♂ 花婿は花嫁を愛し

花嫁は花婿を愛し

永久の契りを結ぼう

(四)葬式の歌

カレン族には葬式の歌は非常に重要な役割をもっている。葬式ではカレン族は亡き人の柩のまわりを三日三晩まわりながら葬送歌（ラメント）を歌う。歌は故人の死霊に対して歌われると云う。ポー・カレン族では葬送のプロセスに合わせて七段階の歌が歌われる。これは死霊がこの世の人々にわざわいをもたらさぬように、死霊が再び帰って来ぬように、死霊はやすらかに亡くなった親族の霊の下にゆきつくように、死霊は霊界で幸福な暮しを送れるように、との願いをこめて歌われる。

またカレン族には、葬式の際に、故人の柩のまわりをまわりながら年長者がラメントを歌ったあとで、若い男女が恋歌を歌いながらまわる。葬式はカレン族の若い男女にとって相手をみつける絶好の場所となると云う特別の習慣がある。

(1) 葬送歌（スコー・カレン）

私は彼の葬列につらなつて墓場にゆく  
彼を埋葬する為に

彼の父母は既に亡く

父母の魂が彼の魂をよんだのだ

安らかに眠れ 彼の魂よ

(2) 葬式で歌う恋の歌（ポー・カレン）

私はバゴダにお詣りに行った

仏様のお慈悲で

恋人にきざはしで会えるようにと

注 仏教徒カレンの歌である。

(四) 教訓歌

この教訓歌は新年・葬式・播種・精霊のお祭に村の古老が子供達に歌ってきかせる。

(1) 教訓歌（スコー・カレン）

よくおきき、これは私の言葉ではない  
昔からの言い伝えだ

タン・タイ山には高い草が生い茂り  
ポンガ山にも高い草が一ぱい茂っていた  
我々の祖先はいつも正しい道を求めていた  
ただ兎は正しい道を求めなかったのだ  
道を見失ってしまった

お前達はいつも正しい道を求めて行くのだよ  
(二) 子守歌

父親の歌う子守歌は診らしい。

(1) お父さんの子守歌（スコー・カレン）

お母さんが森に薪取りに行ったので

お父さんが子守歌を歌ってあげよう

お眠り坊や

お母さんのお乳がないので泣くんだね

お眠り坊や

(2) 子守歌（ポー・カレン）

可愛い坊や おとなしくお眠り

お父さんもお母さんも焼畑に行くのよ

夜になったら お父さんもお母さんも帰っておいしいバナナあげ

るからね

(三) わらべうた

三人の少女が死んだ猫の魂を送って歌う。

わらべうた（ポー・カレン）

可愛い猫ちゃん

安らかに天国において  
来世は幸福に暮しなさいね!

#### (ハ) 仏讃歌

平地カレンの中にはタイ族との接触及びタイ政府の仏教の布教により仏教に帰依するものが多く、彼等は寺院で仏教の儀式を行い仏讃歌を歌う。次はその一例である。

#### 仏讃歌 (ポー・カレン)

～私はお寺に行く お寺を洗い清める為に  
皆さん お寺にお詣りに来て下さい

お堂に入ったら 仏様の前で

敬けんな祈りを捧げて下さい

煙草をのんだりしてはいけません

それは不敬なことです!

#### (カ) キリスト教の讃美歌

19世紀末ビルマから宣教師が来てキリスト教を布教した、その結果クリスチャン・カレンとよばれる特別な社会がカレン族の中に構成され、この社会に属するカレン族の生活は大きく変容した。宣教師は彼等の建てた教会で讃美歌を教え、彼等の建てたクリスチャン・スクールで「チャント」とよばれる西欧スタイルの歌を西欧のシステムで教育し、彼等はまた放送局を建設し「チャント」を説教と共に電波にのせ布教にとめた。放送局の名は「ボイス・オブ・ピース」と名づけられた。音楽的なカレン族はヨーロッパ音楽を受容吸収し、讃美歌を歌うことは勿論、彼等の手で西欧風な「チャント」を作詩作曲し、この分野に於ける専門家も生れている。次は「チャント」の一例である。

主を迎えん (スコー・カレン)

～我等よろこびにみちて

主、キリストを迎えん

主よ 我等の下にありて

祝福と恵みを与え給え

神父と、我等すべてのカレン族のために、

#### (ク) 物語歌

カレン族は伝統的な物語 (レジェンド) を歌にして歌う。ティナクと云うハーブの伴奏で歌われることが多い。また私は一九八〇年にメッサリアンで、クリスチャンのカヤ・カレンによる伝統的なレジェンドを、西欧風のカノンに作曲した「プトメペ」と云う素晴らしい歌も聞いた。次はティナクの伴奏による伝統的な歌である。

#### (1) 物語歌 (スコー・カレン)

(一) 夫のクナレは外出する時に妻のノムエに云った。「愛する妻よ、薪を七束、水を七杯お前の為に用意してある。またワ・ミ・ブエ (竹製の容器) の中に豚のえさも用意した。すべてあなたの為に用意したのだから外出しないで、家で留守番していて下さい」妻のノムエは留守番をしながら豚達をよんでえさを与へた。

そこに蛇が突然やって来て、妻のノムエに巻ついてしまった。鳩がとんで来てこれを見つけ、急いで夫のクナレに知らせにとんでいった。「クナレさん大変です! 奥さんの命が危い、すぐ家に帰って下さい!」

(二) 夫のクナレが家に帰ると妻がいらない。彼はへびの洞穴にかけつけた。蛇は云った。「もしあなたの首の血を下さるなら、奥さん自身にしてみよう」クナレは鶏を殺してその血を蛇に差し出した。蛇はそれでは承知しない。

次にクナレは彼の指を切って血を差出した。蛇は云った。「それ

もあなたの首の血ではない。私は首の血を要求しているのだ」クナレは深く妻を愛していたので首を切って血を差出した。その為クナレは死に、妻は自由の身になった。

(三)人々が七杯の油と、七杯の水を竹の棒切にふりかけ、クナレを火葬した。もえさかる焔の中に妻のノムエは投身した。人々はノムエを助け出そうと思ったが、ますます燃え広がる火の勢にどうすることも出来なかった。

これらの歌はフィールド・ワークで通訳のタウィー氏が、カレン族からきゝ英訳してくれたものを、私が日本語に訳したものである。カレン族の歌はメロディは固定しているが歌詞はしばしば即興される。

仏讃歌はカレン族の伝統的なメロディのスタイルで歌われ、キリスト教の歌は全く西欧風のメロディをもっている。これは仏教がキリスト教より寛容な教義をもち、彼等のアニミズムの信仰と並存し、自然に彼等の中に浸透していることによるものであろう。

近年、平地カレンに於ては隣接するタイ人の部落との接触・交流によるタイ化・近代化が著しく、特にラジオの普及によるタイソングの影響がカレンの青少年の間に広まり、カレンの伝統的な歌謡は消滅の方向を辿るのではないかと思われる。

(うちだ るりこ・国立音楽大学)

# 岩崎美術社

東京都文京区本駒込3-39-6  
 振替東京6-90649 電03(824)1731-3

▶内容見本呈◀

# 全国昔話資料集

●各地の方言の微妙な味わいと語り口を伝える評価の高い基本資料！

●責任編集 白田甚五郎・関敬吾・三谷栄一・野村純一  
 四六判上製函入/定価一六〇〇円/二八〇〇円

## 陸前伊具昔話集

仙南部の風土に根差した、再び得がたい一五二話を収録  
 山本 明編 (宮城)

## 奥出雲昔話集

中国山地に温存されてきた、音律豊かな一〇〇話を収録  
 田中堂一編 (島根)

## 東讃岐昔話集

これまで見るべき昔話集のなかった地域を初めて切拓く  
 武田・谷原編 (香川)

## 吾妻昔話集

きびしい風土に培われた、語り的美しさを繰りひろげる  
 榎谷 明編 (群馬)

## 伊豆昔話集

十余年をかけて半島をくまなく歩いて掘起こした昔話集  
 鈴木 暹編 (静岡)

## 陸前昔話集

農民の夢と願いを色濃くとどめる一五〇余話を取める  
 佐々木徳夫編 (宮城)

## 完全「昔話研究」

A5判 上製本 函入  
 復刻 セット定価二五〇〇円  
 わが国における昔話研究の黎明をつけた記念碑的な雑誌